

“津久井観音霊場巡り” その2

2日目 (H19, 2007/06/13 金) 歩き

自宅 (am9:50 出発) →6.12km 第7番; 三井寺 →4.93km 第8番; 友林寺 →1.95km 第9番; 観音寺 →2.04km 第10番; 円蔵寺 →0.2km 第35番; 実相院 →1.43km 第11番; 長成寺 →2.24km 第12番; 祥泉寺 →8.8km 自宅 (pm15:19 着) 合計 27.69km

2 日目も天気は上々である、今日は多めに水分を補給しながら、昨日より少し距離を歩く予定だ。7番札所の“三井寺”まで最短距離で行くために、5丁目から普門寺上の飯綱権現堂を經由して、一気に中沢に向かうことにする。上中沢のバス停終点まで15分で着いたが、いつものウォーキングコースの浄水場裏から城山高校の裏を通る遠回りルートだと、このバス停まで丁度1時間で歩くので、今日はかなりのショートカットである。相変わらず水の少ない津久井湖を横目に7番札所の三井寺には約1時間で到着した。

此あたりの地名が三井(みい)と呼ばれるところから“みい寺”と呼ぶ人が多いようだが、“さんせい寺”をいうのが正式の呼び方である。

近代的なコンクリート造りでガラス張りのお寺に、多少違和感を覚えながらも、中が見えるのでありがたく読経し次の札所に向かう。



第7番 三井寺(三井)

聖観世音菩薩

明星山三井寺(さんせいじ)。臨済宗建長寺派。本尊は釈迦如来。明応元年(1492)相模川の清流、風光明媚な地に文湖和尚により開山。中興開基は高城五郎左衛門で、次男の妻は守屋左太夫代官系譜をくむ、左兵衛の娘。又、文化12年8世東岳和尚により堂宇が再建され、その後、昭和36年城山ダム建設に依り、現在地に現代的感覚の本堂(鉄筋作り)が新しく再建された。兼務住職は相模湖町底沢143の桂林寺である。

極楽の道と知らせる
三井寺の鐘の響きに
うつる川音
ごくらくのみちとしらせる
みいでらのかねのひびきに
うつるかわおと

三井大橋の涼しい風にあおられながら、渡りきった所から遊歩道“梢の道”に入り、竹林の笹を踏みしめながら国道415に出る。博多ラーメンの誘惑を振り切って通り過ぎたが、隣のセブンイレブンに入ってしまう、パンと水を求めてしまう。

旧 津久井合同庁舎の裏手に8番札所の“友林寺”はあった。この寺は以前通りかかったことがあったので様子は分かっていたが、丁度住職が表に出てきており、自分が読経して帰ろうとすると、「ありがとうございます」と丁寧な言葉、たいへん恐縮してしまう。でもありがたいことである。



極楽は何処の程と
友林寺慈悲真実の
胸にこそ有れ

ごくらくはいづくのほどと
ゆうりんじひしんじつの
むねにこそあれ

第8番 友林寺（中野） 聖観世音菩薩
医王山友林寺（ゆうりんじ）。臨済宗建長寺派。本尊は聖観世音菩薩。康暦元年（1379）の創立で開祖は雲居寺開山、鎌溪禅師の法孫、大智恵通禅師。昭和38年城山ダム建設の為水没する事と成り、現在地に新本堂（鉄筋作り）、庫裏を建立した。水没前は、不津倉の「友林寺」と呼ばれ、寺の後ろは相模川を眼下に眺望できる所にあった。現在も寺の後ろは、相模川と成っている。

9 番札所の“観音寺”へは415線バイパスを横切り、更に中野の旧道から左手に急な坂道を登っていくと、路傍に六地藏尊が祀られていた。みんな紅い召し物をまとして本当にいい姿をしている。その少し上手に、観音寺の立派な山門が見えてきた。観音堂は更に上の高台にあり、津久井から橋本まで一望できる絶好の場所に、堂は建てられている。丁度、近所の御仁が登ってきて「涼しい所でしょう」と声をかけてきた。これから向かう札所の話などをしばらくして観音寺を後にした。

今日は、臨済宗の建長寺派のお寺さんが続く。

叶わねば大悲を頼む
世の習い導き給え
此の世後の世

かなわねばだいひをたのむ
よのならいみちびきたまえ
このよのちのよ



第9番 観音寺（奈良井） 聖観世音菩薩
蔵眼山観音寺（かんのんじ）。臨済宗建長寺派。本尊は釈迦如来。開山は用律碩桂禅師（文亀2年、1502、1月6日示寂）。新編相模風土記のよると創建は延徳元年（1489）である。現本堂は昭和38年、川崎市内にあった寺院の再建。境内には元禄様式を伝える仁王門があり、阿吽の像を安置している。20～30メートル上に観音堂があり、ここが霊場巡礼参拝場所と成っている。



峯の薬師から城山まで一望のパノラマ、右下には開発中の素晴らしい墓苑も見える。

登ってきた同じ道を下り、尾崎記念館への道を進む。
記念館の前を通りすぎると、10 番札所“円蔵寺”
の朽ちかけた看板が見つかった。

円蔵寺はひっそりした集会所のような造りだったが、無住
のお寺のようだったが、ご詠歌も掲げられており読経し次
に向かう。



第10番 円蔵寺（又野） 聖観世音菩薩
大悲山円蔵寺（えんぞうじ）。**高野山真言宗**。本尊は十一
面観世音菩薩。本尊と霊場本尊は昔付近の観音沢にあった
と伝えられているが、新編相模風土記によると、大悲山
真蔵院云う千木良善勝寺末のお寺があり、本尊は聖観世音
菩薩とある。この寺にある地藏尊は一年をかけて檀家の家
を回り、年末に寺へ帰る「子育て地藏」行事は有名であ
る。兼務は第39番札所、城山町の葉山島東林寺である。

巡り来てここに又野の
観世音二世安楽と
誰も祈らん
めぐりきてここにまたのの
かんぜおんにせあんらくと
たれものらん

次の11番札所“長成寺”に向かう途中に35番札所“実
相院”が道路沿いにあり、立派なお寺に急遽おまい
りすることにした。立派な弘法大師像や六地藏尊もあり、
本堂への独特のお参りの作法も丁寧に表示されていた。今
回の霊場めぐりで弘法大師像に会えたのは初めてだった
と思う。すぐ隣の小山には、又野神社が祭られていたが、
今回は神社へのお参りは遠慮した。



第35番 実相院（又野） 千手千眼観世音菩薩
亦野山実相院（じっそういん）。**高野山真言宗**。本尊は大
日如来。永禄年間（1558～1569）実相院頼久上人の開基で、
本尊金剛界大日如来の脇仏として弘法大師、不動明王を安
置し、境内には十二神将を従えた薬師堂がある。又、新編
相模風土記によると、江戸時代は千木良善勝寺の末寺で、
亦野山東福寺と称した。その後実相院と改められた様であ
る。現在は横浜市港北区綱島西2-10-10の久光院で兼務し
ている。

現世に大日の恵み
亦野山祈る心は
此の世後の世
うつしよにだいにちのめぐみ
またのやまいのるころは
このよのちのよ

バス通りを更に西に進むと、津久井町唯一の産院が見えてきた。美奈子もこんな産院が将来開けるのか等と、
余計なことを考えながら又野を抜けて野尻地区に入ってしまった。このあたりの右側の正面には、津久井湖越しに
まだ見たことがない“沼本ダム”が見えるはずである。道志川と相模川の合流地域でもあるので、水没前にはい

い場所だったに違いない地域である。実際に家が思った以上にびっしり並んで見えた。今日は寄り道するだけの余裕がないので通り過ぎたが、一度ゆっくり散策してみたい地域である。

地図を頼りに 11 番札所“長成寺”はすぐに見つかった。境内には、最近普請したと思われる石をたくさん使った境内があったが、石の色はまだ境内に馴染んでいない感じがした。読経していたら右手の家から人が覗きに來たので、急いで切り上げて退散した。

こんな時、なんと云えばよいのだろう。「巡礼しています」とはおこがましくて言いにくいし・・・。



願う身は幾世久しく
栄うべし長き命の
あらん限りは
ねごうみはいくよひさしく
さかうべしながきいのちの
あらんかぎりは

ここからは、学校帰りの小学生たちとすれ違いながら、三ヶ木の交差点を目指す。津久井湖ゴルフ倶楽部の懐かしいグリーンを横目に見ながら、本日最後の 12 番札所“祥泉寺”にたどり着く。

きれいに掃き清められた境内には、銀杏の大木の割れ目に、銀杏抱え地蔵も祀られており、下の国道の喧騒が一瞬途絶える雰囲気落ち着いたお寺だった。観音寺で出会った御仁がこの檀家とのことで、住職がきれい好きで、何時も境内にはゴミひとつ落ちていないと教えてくれていたが、そんな感じのこごんまりとした境内だった。本堂は、お寺作りというか武家屋敷のような面影、多分、そんな歴史だろうと想像された。

第12番 祥泉寺（大沢） 聖観世音菩薩
熊野山祥泉寺（しょうせんじ）。臨済宗建長寺派。本尊は釈迦如来。新編相模風土記では、開山華榮玄香禅師で、応永 33 年（1426）創建、熊野山祥泉庵と号す。創建当寺は現在の熊野神社山麓に位置する。数度の火災で現在地に移動する。開基は上杉長尾氏。聖観世音菩薩は平安末期の作、独特の前屈の身の姿で美しい。境内には銀杏抱え地蔵もあり。熊野社棟札や上杉氏関係の古文書等数点残存。



雲晴れて熊野の山の
祥泉寺願う心に
利益授けん
くもはれてくまのやまの
しょうせんじねがうこころに
りやくさずけん



聖観世音菩薩（しょうかんぜおんぼさつ）



銀杏抱え地藏

これで、今日の霊場めぐりの予定は終了した。ここから博多ラーメンでの遅めの昼食を楽しみに、国道 415 をひたすら東に向かう。

津久井の博多ラーメンは、右の写真とは少し赴きが異なるが、細麺のおいしい博多ラーメンに満足する。

この店でも少し前までは、明太子がたっぷりとトッピングできたのに、今では全くなくなってしまった。もう一度あの味わいに出会いたいものである。



此のくらいこっぴりの本物の博多ラーメンが食べたい。これに色々トッピングしたらたまらない・・・。

約 28 キロの長旅の割には 3 時 19 分には家に帰ることができたが、さすがに今日は足が少し張る感じがする。

（津久井観音霊場巡りーその 2 終わり）